

緑風

帯広市立緑園中学校 学校だより No.5

令和2年 6月9日発行 発行者 校長 海鋒 達也
今年度重点 『Build Confidence!』

《学校教育目標》

- 学ぶ人
- 思いやる人
- 鍛える人

開校 29 年目

緑園中開校記念日 / 6月15日

平成4年（1992年）4月8日、本校の開校式の様子について、北海道新聞は次のように報じています。

春らしい青空が広がった8日、市内では15番目の中学校となる緑園中学校（安田弘校長）の開校式が、同校体育館で開かれた。全校生徒526人と父母ら合わせて約600人が出席し、新しい学校の門出を祝った。

同校は帯広第二中が過密になったため分離したもので、校舎は鉄筋3階建て。校内にはパソコン20台を備えている。また、各階には3教室分の広さの多目的スペースを設けるなど、ゆとり重視型。開校式では、高橋幹夫帯広市長の祝辞に続き、安田校長が「大きな夢を持って頑張ってもらいたい」と生徒を励ました。35人の教職員の紹介と、できたばかりの校歌「昴原（こうげん）」が披露された。引き続き生徒会長の金尾充智君（3年）が「全校生徒が一つになり、新しい学校をつくり上げていきます。」と決意を述べた。

校名の意味

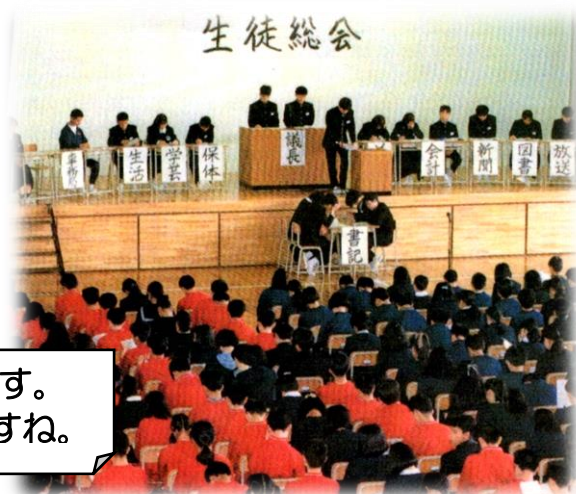
緑園

「緑あふれる北のフロンティア都市」のシンボルである「帯広の森」に隣接し、自然あふれる快適な「西帯広ニュータウン」造成に伴って開校した。萌え出ずる新緑の若芽（本校生徒）が帯広・十勝の厳しい自然環境の中で雄々しく大樹に成長し、切磋琢磨して、来る21世紀をたくましく担っていくことを願って命名した。

開校時 1年5学級 196名 2年5学級 165名
3年5学級 162名 特別支援学級1学級3名 計526名

そしていよいよ来年度は、緑園中学校は30周年を迎えます。その前年となる今年度は、コロナ禍の中、とても不自由な日常生活を送っています。しかし、全校生271名が、29年の歴史の重みを感じつつ、新たな栄えある伝統を創っていくことを決意し良き節目となる、開校記念日であってほしいと切に願っています。

1992年第1回 生徒総会のようす。
書記者の位置が国会の速記席風ですね。



『帯広市子供安全ネットワーク』の更新 令和2年度 新規データ登録のお願い

帯広市子供安全ネットワークの運用については、個人情報漏洩を防ぐために、1年ごとの更新となっています。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策における連絡方法確保のため、ここまでは昨年度のままの状態が続いておりましたが、例年3月末に行っておりました上記作業を、6月に行うことになりましたので、お知らせいたします。

なお、6月のデータ削除および登録手続き等のスケジュールは下の表の日程になります。つきましては、ご確認いただき、本日別紙で配布いたしました登録手順にのっとり、忘れずにデータ登録をお願いいたします。

この度2月からのコロナ対応だけでも、安全メールによる伝達・周知は、早さ・正確さとともに利便性の高いものだとして再認識できました。何卒、ご理解頂きたく存じます。

日 時	内 容
6月2日 済 (午前10時頃予定)	教育委員会から9日にデータ削除のお知らせ(メール)
6月9日 (午前9時頃予定)	教育委員会から削除と登録のお知らせ(メール)
6月9日	学校から保護者、教職員に登録手順書を配布
6月9日～12日	保護者、教職員による新年度登録期間
6月12日 (午後5時頃予定)	教育委員会から登録を済ませられた方へ、「期日までに安全メールの登録が確認された」旨のお知らせ(メール)

～ウイルスは心の距離を遠ざけない～

「Social Distance ソーシャルディスタンス」という言葉が、コロナ禍を機に広がりました。「新型コロナウイルス感染症を予防するために、社会的に距離をとることが有効な手段」ということです。私たちは今、コロナによって物理的な距離は引き離されていますが、私たち本来の関係性の距離が遠ざけられることはありません。

今とっている距離は、私たち一人ひとりの「信頼と協力」の証(あかし)ですよね。



6月1日～全学年の教育相談を実施しました。順番を待っている生徒は、空き教室で自主学習にのぞんでいます。スキマ時間の活用です。

